



平成 22年8月6日(金)
国土交通省 関東地方整備局
川崎国道事務所

記者発表資料



国道357号 東京湾岸道路 湾岸環八出口から国道357号への 接続ランプ開通後の交通状況について

川崎国道事務所では、羽田空港再拡張事業により予想される交通需要の増大に対応するため、空港関連利用車両と国道357号利用車両の混在による渋滞の緩和を目的に、首都高速湾岸線「湾岸環八出口」から空港構内道路を経由せずに、国道357号へ直接接続できるランプの整備をおこない、平成22年3月29日(月)に開通しました。

この度、開通3ヶ月後の交通状況を取りまとめましたので、お知らせします。

①接続ランプを利用する交通量は開通3ヶ月後の平日において2,835台/日(大型車は1,855台/日)です。
【「湾岸環八出口」からの交通量の約56%(大型車は約68%)】

②接続ランプ開通後、空港構内道路の渋滞は見られなくなりました。(別紙参照)



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／横浜海事記者クラブ
東京都庁記者クラブ／神奈川県政記者クラブ／川崎記者クラブ

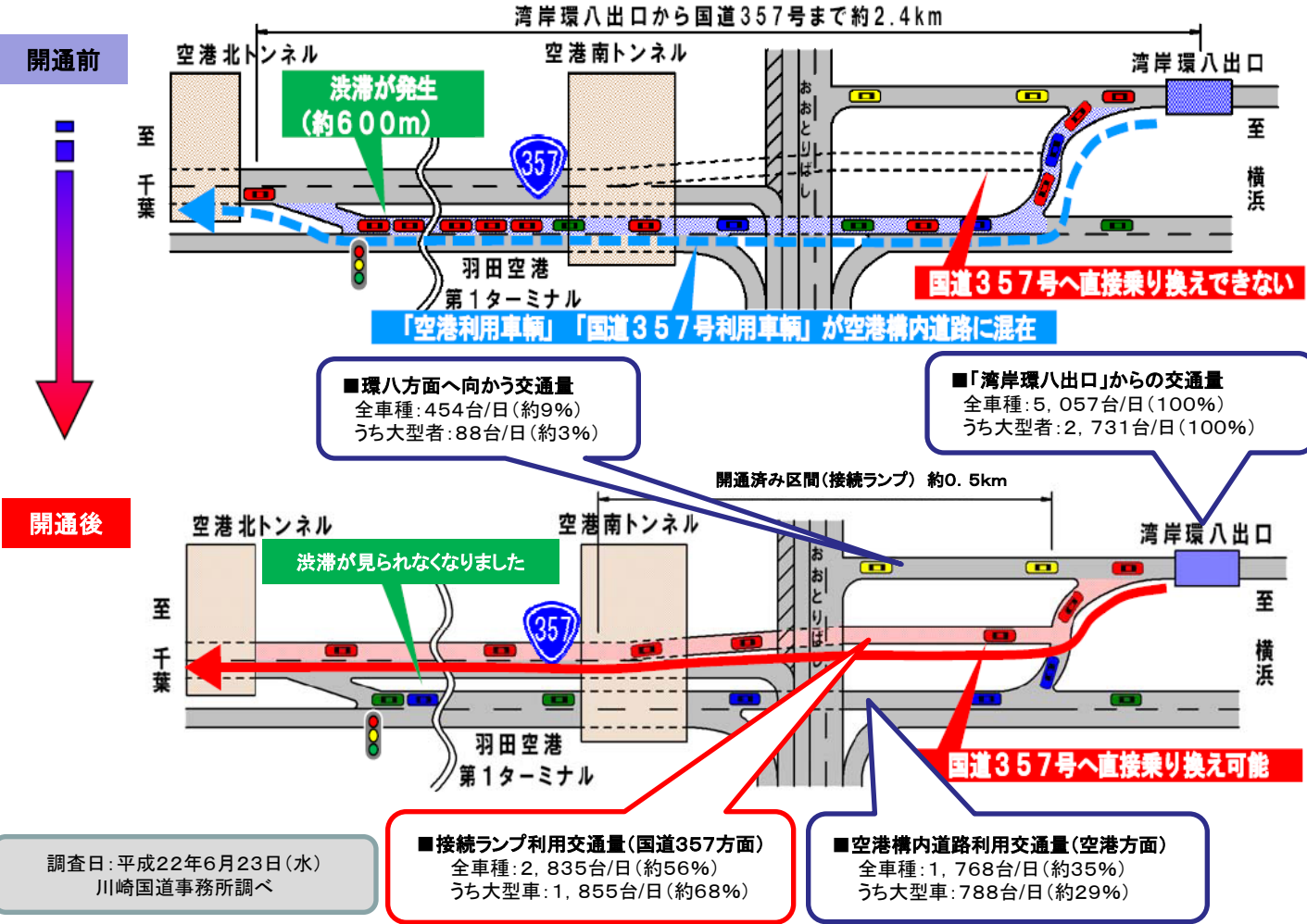
問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所
〒213-8577 川崎市高津区梶ヶ谷2-3-3 電話044(888)6411
地域広報官 佐藤 幸基(さとう こうき) (内205)
計画課長 伏見 利行(ふしみ としゆき) (内261)

①接続ランプを利用する交通量は、開通3ヶ月後の平日において、2,835台/日(大型車は1,855台/日)です。

【「湾岸環八出口」からの交通量の約56%(大型車は約68%)】

②接続ランプ開通後、空港構内道路の渋滞は見られなくなりました。



ヒアリング結果(空港構内道路の管理者):
「接続ランプの開通以降、羽田空港構内道路の交通渋滞は見られなくなり、スムーズな通行となっています。」